

UNITE  
FOR  
GOOD

RIメッセージ  
よいことのために  
手を取りあおう

# 週報 佐土原ロータリークラブ

会長：福嶋 城史 副会長：東 真苗美 RI 2730 地区ガバナー：西本幸則  
幹事：工藤 登紀子 会計：田辺 浩嗣 中部グループガバナー補佐：藤堂 孝一  
事務局：押川 有里 会報委員：藤浪 淳志

例会場：コンベンションセンター

RI 会長メッセージ：よいことのために手を取りあおう

2730 地区メッセージ：「居心地の良いクラブとは」

例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL：0985-21-1133・FAX 0985-21-1144

事務局住所：宮崎市神宮東 2 丁目 6-26 TEL0985-72-7600 FAX0985-72-7600

第 1740 回例会 令和 8 年 3 月 25 日(水)

## <今日のプログラム>

- |    |          |             |
|----|----------|-------------|
| 1  | 点 鐘      | 会長 福嶋 城史 君  |
| 2  | ロータリーソング | ♪ 奉仕の理想 ♪   |
| 3  | 4つのテスト   | 本日の担当者より    |
| 4  | 会長の時間    | 会長 福嶋 城史 君  |
| 5  | 幹事報告     | 幹事 工藤 登紀子 君 |
| 6  | 出席報告     | 本日の担当者より    |
| 7  | 委員会報告    |             |
| 8  | HPBOX 報告 | 本日の担当者より    |
| 9  | 会員卓話     |             |
| 10 | 次週例会案内   | SAA より      |
| 11 | 点 鐘      | 会長 福嶋 城史 君  |

第 1739 回例会記録 令和 8 年 3 月 18 日 (水)

- 点 鐘 会長 福嶋 城史 君
- ロータリーソング それでこそロータリー
- 4つのテスト 林 厚雄 君
- 会長の時間 会長 福嶋 城史 君

冒頭、先日開催されたインターシティミーティング (IM) について、参加会員への労いの言葉が述べられた。



運営上いくつかのトラブルはあったものの、関係者の対応により収束し、全体として無事に終了したことが報告された。

続いて、本日の外部卓話者として、スパークジャパン株式会社 代表取締役 岡田憲明氏の紹介が行

われた。岡田氏は会長の高校時代の同級生であり、宮崎大宮高校 44 回生である。

同席者として会長夫人および松村氏 (歌の指導者) の紹介があった。

前回例会より試験的に運用している「くじらボックス」について再度説明がなされた。本制度は、会員に慶事があった際に任意で祝意を示す仕組みであり、一口 500 円、強制ではなく、ボックスが回覧された際に各自の判断で投入するものである。名称は、クジラが普段は深海に潜り必要な時にのみ浮上する性質に由来し、併せて佐土原の地域性にも関連づけられている。

今回、第 1 号として太田会員の結婚祝いに使用され、シーガイア商品券が贈呈された。



また、クラブ財政について

報告があり、財源が厳しい傾向にあることから、他クラブ周年事業への参加費は原則自己負担とする方針が示された。ただし、高鍋ロータリークラブ、西都ロータリークラブなど関係の深いクラブについては、1 件につき 5,000 円の補助を行うこととし、次回以降の事業より適用さることとなった。

ここで松村氏より案内が行われた。10 月 12 日に佐土原総合文化会



館において、0 歳から楽しめるコンサートを開催予定であること、オペラを身近に感じてもらうことを目的としていることが説明された。また、東京から講師を招いて実施する予定であり、地域の子供たちに本物の音楽に触れる機会を提供したいとの趣

旨が述べられた。併せて、プログラムへの広告掲載および協賛についての協力依頼がなされた。

#### ■幹事報告

幹事 工藤 登紀子 君

2026年10月に台湾で開催される世界ゴルフ選手権の案内、4月19日に高鍋で開催されるRLI研修の案内、5月9日に開催される都城中央ロータリークラブ40周年式典の案内があった。  
また、宮崎県移植推進財団への100円募金を実施したことが報告された。  
今後の例会予定として、3月25日および4月1日は通常例会、4月15日は夜間例会、4月22日は梅田学園での職場訪問例会が予定されていることが説明された。



#### ■出席報告

会員数：26名  
MU：3名 欠席者数：6名  
出席者数：23名  
出席率：88%

吉田 康一郎 君



#### ■HPBOX 報告

会員の近況として、家族旅行や日常の出来事に関する話題が共有された。

田辺 浩嗣 君



#### ■委員会報告

インターテイニングの打ち上げが3月25日に開催予定であること、また5月9日に歯車会が開催されることが案内された。

吉田 康一郎 君



#### ■外部卓話

スパークジャパン株式会社 岡田 憲明 様

岡田氏は1974年生まれ、宮崎市出身。宮崎大宮高校卒業後、宮崎大学へ進学し、19歳で起業した。会社員としての勤務経験はなく、現在に至るまで事業経営を継続している。



幼少期は眼鏡店を営む父のもとで育ち、顧客から感謝の言葉を受け取る姿を間近に見てきたことが、現在の経営観の原点となっている。

起業当初は、自身で車検を行った経験から車検代行を開始し、友人を中心に受注を拡大した。その後、携帯電話販売、イベント企画、化粧品販売など様々な事業に取り組んだ。

21歳で中古車販売業を開始し、営業活動を重ねる中で協力者を得て事業を軌道に乗せ、月収80万円から100万円程度を確保するまでに成長した。その後、飲食店経営にも参入したが、共同経営者の問題により撤退した。

その後、先物取引により損失を被り、資金減少により中古車事業も終了することとなった。この経験を契機に、事業の在り方を見直すこととなる。



1997年、インターネットと出会い、独学で技術を習得し、スパークジャパンを創業した。当初は資金不足のため、顧客から先に代金を預かりパソコンを購入し、設定作業費を収益とするなど工夫しながら事業を継続した。

その後、ECサイト、不動産情報サービス、音楽配信など様々なIT事業に取り組んだが、独自ショッピングモール事業では、顧客理解や集客面の課題により約1年半で撤退した。

26歳で青年会議所に入会し、理事長や地区役職を歴任する中で経営や人材育成を学び、その後の事業経営に活かしている。また、2011年には宮崎国際フェスティバルを立ち上げ、現在も存続している。

後半ではAIおよびDXについて説明があり、無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）の例を挙げながら、固



定観念にとらわれない視点の重要性が示された。  
DX はデータを活用した経営変革であり、AI は業務効率化に活用することで、人は対人業務や創造的業務に注力できると述べられた。

現在の事業はシステム開発、ネットワーク構築、ホームページ制作等であり、航空会社やホテルのシステムにも関与している。また、ICT 企業連絡協議会を通じて地域 IT 産業の発展にも取り組んでいる。



■その他 IM 実行委員長 吉田 康一郎 君  
吉田委員長より、IM への参加および協力に対する謝辞が述べられた。他クラブからも高い評価を受けており、テーマである「ふるさとがあるから今がある」についても好評であったことが報告された。

■点 鐘 会長 福嶋 城史 君